allcinema

罪と罰（1983）

RIKOS JA RANGAISTUS
CRIME AND PUNISHMENT

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス
製作国　フィンランド
色彩　Color
時間　93分
初公開日 2002/01/26
公開情報 ユーロスペース

【キャッチコピー】
殺人は、時代への復讐だった。
アキ・カウリスマキの驚異の処女作

【解説】
　フィンランドの鬼才アキ・カウリスマキ監督幻のデビュー作。弱冠26歳にして初監督の彼が挑んだのは難解で知られる文豪ドストエフスキーの名作『罪と罰』。舞台を現代のヘルシンキに移し、人間の心の闇に鋭く迫り、後の「ラヴィ・ド・ボエーム」や「白い花びら」といった作品群の原点を垣間見せてくれる。
　食肉解体工場で働く青年ラヒカイネン。ある日、仕事が終わった彼は、町中でひとりの中年男の後をつけ、そのまま家の前まで行く。電報と偽り、ドアが開いたところで男にピストルをつきつけるラヒカイネン。命乞いの言葉も虚しく、理由も分からないまま殺される男。そこへ、若い女が買い物袋を下げて入ってきた。彼女はケータリング店の店員で、この家で開かれるはずだったパーティの手伝いに来たのだ。だが、女はなぜか悲鳴も上げずに彼を逃してしまう。やがて捜査線上にラヒカイネンが浮上するが、彼は巧みに捜査を攪乱して逃げ続ける……。

【クレジット】

監督	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki	
製作	ミカ・カウリスマキ	Mika Kaurismaki	
原作	ドストエフスキー	Dostoevsky	
脚本	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki	
	パウリ・ペンティ	Pauli Pentti	
撮影	ティモ・サルミネン	Timo Salminen	
美術	マッティ・ヤーラネン	Matti Jaaranen	
編集	ヴェイッコ・アールトネン	Veikko Aaltonen	
音楽	ショスタコーヴィチ	Shostakovich	
	シューベルト	Schubert	
録音	ミカエル・シエヴェルス	Mikael Sievers	
出演	マルック・トイッカ	Marukku Toikka	ラヒカイネン
	アイノ・セッポ	Aino Seppo	エーヴァ
	エスコ・ニッカリ	Esko Nikkai	ベナネン警部
	マッティ・ペロンパー	Matti Pellonpaa	ラヒカイネンの友人
	オッリ・トゥオミネン	Olli Tuominen	スネマン警部

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.